

■教育優秀賞／プラクティス優秀賞

2022 年度後期「教育優秀賞」「プラクティス優秀賞」受賞者の決定について

2022 年度後期「教育優秀賞」「プラクティス優秀賞」受賞科目、受賞者が下記のとおり決定しました。

■受賞科目と受賞者

		受賞科目	受賞者
教育優秀賞	履修者 30 名以上	コンピュータグラフィックス	浮田 宗伯 教授
	履修者 30 名未満	データサイエンス実践集中演習	椎原 良典 准教授 原 正則 准教授 三輪 誠 准教授
プラクティス優秀賞		創造性開発実習2 (電気自動車)	藤崎 敬介 教授 村瀬 健一 指導員



(左から、浮田教授、藤崎教授、保立学長、三輪准教授、原准教授、椎原准教授)



(左から、藤崎教授、村瀬指導員(トヨタ自動車株式会社)、保立学長)

教育優秀賞受賞者の感想

■「教育優秀賞」(履修者数 30 名以上)

授業科目:コンピュータグラフィックス

コンピュータグラフィックスで3回目の受賞となりました。この貢献度の半分は、TA 学生によるものです。

TA 学生に何を担当してもらうかは講義の種類によって変わらざるを得ないと思いますが、本講義では、講義・課題の準備や、レポート採点などの裏方業務は教員が担当して、講義時に実施する課題の質疑応答を TA 学生にゆだねています。これによって、受講生から積極的に質問しやすい雰囲気や、質問を超えた講義関連話題(研究に関わる内容など)を学生目線で語ってもらう機会を提供できています。この機会を介することで、受講生が講義内容に興味を持ってもらえる好循環が生まれている結果、受賞を重ねることができたのかなと自己分析しています。

今後も、その時々学生の知識や興味に合わせて、普遍的な基礎的学問知識を分かりやすく興味を持ってもらえる形式で教えていきたいと思っています。(浮田教授)

■「教育優秀賞」(履修者数 30 名未満)

授業科目:データサイエンス実践集中演習

本講義は、「産業実データにおける異常検知を3日間の集中講義の中で実践する」というもので、2022年度から開始された本学のAI教育プログラム、「モノづくりAI」の目玉の一つです。

協力企業様のご厚意で頂戴した実データは、モノづくり重視という本学の教育プログラムを実体伴うものとし、取り組みを差別化する、という意味で重要なものです。講義設計においては、データ提供元の方々から多大なご協力を頂戴しました。また、事務局からの厚いサポートにも助けられました。演習の成功には、受講者、TA 諸君の尽力が必要不可欠だったと理解しています。その他にも多くの方に支えられて本講義が実現されました。深く御礼申し上げます。(椎原准教授)

この度は教育優秀賞を賜り、大変光栄に存じております。

「データサイエンス実践集中演習」はデータサイエンス教育の強化のための実践的な演習として今年度より導入された演習であり、ご協力頂きました企業より実際の製造現場で取得したデータをご提供いただいで実施した演習であったため、実際にどのような結果が出るのか手探りな部分がありました。しかし、椎原先生、三輪先生が中心となってしっかりとした演習の設計を行い、受講学生、TA 学生共に、春休みの期間でしたが熱心に取り組んでもらえたことで実りある演習になったと思っております。

この演習の準備や実施に参加できたことは私自身、非常に勉強になりました。演習に関係しました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。(原准教授)

この度はこのような賞をいただき、大変嬉しく思います。実習に熱心に取り組んでくれた9人の受講生、問題・データを提供いただいた企業の皆様、関わった先生・職員・TAの皆様に深く感謝いたします。

この実習は数理・DS・AIプログラムの実践として、実データを対象とした機械学習による問題解決を行うというものです。事前学習課題の設定、ルーブリックの共有、チームでの実習、チーム内・チーム間での情報共有・進捗の見える化など、様々な工夫を取り入れ、チームごとに異なる解決策を実現できました。初年度で準備不足もあった中でのこの評価には驚いておりますが、これを励みに、今後とも関係の皆様とともに更なる改善に努めたいと思います。(三輪准教授)

プラクティス優秀賞受賞者の感想

■授業科目:創造性開発実習2(電気自動車)

この度は「創造性開発実習2:電気自動車」にて栄えある賞を受賞させていただき、ありがとうございます。

本実習は、テーマのみを与え、限られた予算、人員で実現できる目標、実現方法、日程を自ら考え実行するものであります。今回は車いすの電動化をテーマとして与えました。これまでの実績もあり漸く安定して動かすことができ、学生自身大きな達成感が得られたものと思います。他の先生、指導員、TAの協力により得られたものであり、深謝いたします。

電気自動車、自動運転の実用化といった新たな時代を迎え、創造性のある学生の必要性が高いものといえ、創造性ある学生の育成努めていきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。(藤崎教授)